

# がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	悪性リンパ腫	(R-)MEVP
投与予定	休薬を含めて1クール 21 日	6 クール施行

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day -)								
							0	1							
1	生食	50ml	/		点滴静注	5分	↓								
2	(リツキシマブ施行時) 生食 + <input type="checkbox"/> メチルプレドニゾン or <input type="checkbox"/> ヒドロコルチゾン	20ml 40mg 100mg	/		静注	/	↓								
3	<input type="checkbox"/> 施行有 <input type="checkbox"/> 施行無 生食★ リツキシマブ	100/500ml 375 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	医師の指示通り	↓								
★2回目以降90分で投与する場合は生食 250ml規格で →				ml											
4	グラニセトロンバッグ	3mg/100ml	/		点滴静注	30分		↓							
5	★プライミングフラッシュ生食必要★ 生食 ミトキサントロン	100ml 10 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	30分		↓							
6	生食 ビンデシン	100ml 2 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	30分		↓							
7	生食	50ml	/		点滴静注	5分	↓	↓							

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
3	リツキシマブ	内訳 100mg: 0mg 500mg: 0mg	1~4mg/mlに希釈調製使用する。 初回: 50mg/hで開始、30分毎に50mg/hずつup。最大400mg/h。 2回目以降: 下記のいずれかに該当する場合は、当該注入速度を選択することができる。 ・初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/hで開始可、30分毎に100mg/hずつup。最大400mg/h。 ・臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満である場合、90分間で投与可※ ※総液量を250mlとし、最初の30分は100ml/h、以後の60分は200ml/hで点滴
5	ミトキサントロン		[総投与量] 従前にアントラサイクリン系薬剤を使用していない症例: 160mg/m <sup>2</sup> を超えないこと。 従前にアントラサイクリン系薬剤を使用した症例: 100mg/m <sup>2</sup> を超えないこと。

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
エトポシド	200mg/m <sup>2</sup>	医師の指示通り	day1~3
プレドニゾン	40mg/m <sup>2</sup>	分1朝食後又は分2朝食後	day1~5
(リツキシマブ施行時) イブプロフェン	100mg	リツキシマブ30分前	day0
(リツキシマブ施行時) d-クロルフェニラミン	2mg	リツキシマブ30分前	day0

リツキシマブの投与日は変更になる可能性あり。  
別途ステロイドを使用している場合は、リツキシマブの前投薬のステロイドは使用しない場合あり。

備考	
----	--